

国際交流セッション ～長田町小学校の取り組み～

金沢市立長田町小学校 池岸晃弘

本校の取り組みの特徴

本年度、長田町小学校では、

1. 本物や人との出会い
2. 国際理解
3. 情報発信・交流

を目当てに、『ユネスコ・プロジェクト/リーフレット作成』に取り組んでいます。そこで『連画』では、そのリーフレット作成に生かせるようなスキル向上・交流や情報発信の体験をさせたいと考え、

- ・TV 会議、他校とのチャットなどより簡単に取り組める。
- ・子ども達の昨年度の取り組み「学校のキャラクター」でついた力を生かせる。
- ・交流・発信のネチケット(校外版)の実践ができる。

という観点からセッションに参加しました。

子どもたちの活動から

1. 休み時間には、教室の PC で連画状況を確認するという子
23 人中 4 人が自分の絵に誰かがつながり、感動していました。つながらなかつた子は、振り返りで「つなげにくい絵になってしまった」と書いていました。発信情報を認められることが、さらなる喜びにつながり、次には認めてもらえるようなクオリティの高いものをつくりたいという向上心がでてくると感じています
2. ペイントのスキルの上達
自分の絵が公開されることへの感動体験が、「やってみて 修正して再度発信で 質が向上する。腕も上がる」という構図を作ってきているのだと思います。
3. 家でみたい！という子、保護者からも、面白い！との声
『連画』を家でも体験したいという子ができたのが、この『連画』のおもしろさを物語っていると思います。



教師の支援

1. 数点の作品を鑑賞し、どう感じるかを述べ合うことから出発しました。高学年では、このような知的な面を刺激することは、導入として有効な手段だと思えます。また、クラス内でも、作品展をおこない、鑑賞しあいました。
2. 家庭でもやりたいという子どもたちの声があがったため、家庭で行うときの心構え(学習として行うのだということ)や家庭への連絡などを行いました。
3. 今後、授業にどう位置付けて、教務・校長を納得させるかという課題が残っています。
それは、教師として『連画』の学習の目標をどのように持ち、どのように評価をしていくかということにかかっているのだと思います。